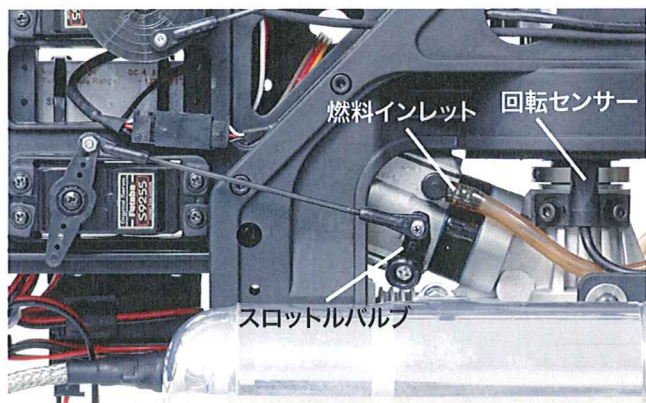


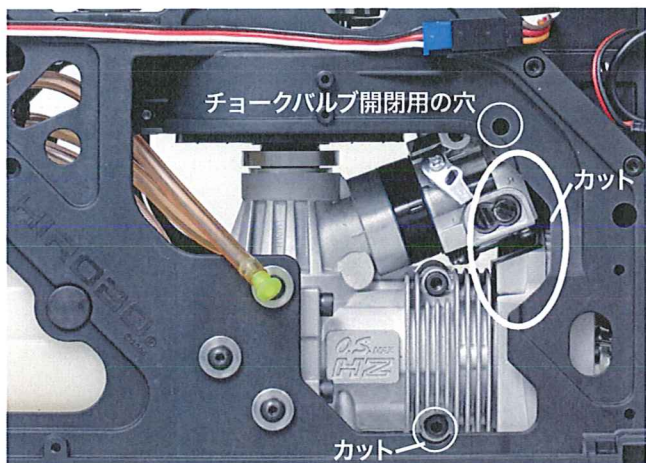


GT15HZ 700サイズヘリの搭載例

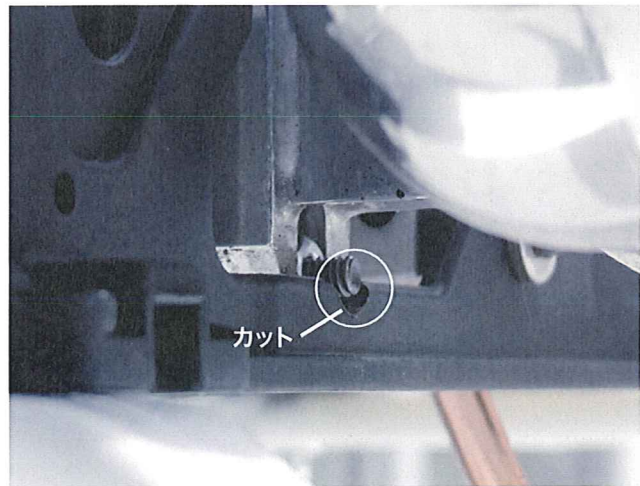
搭載例 HIROBO FREYA Evolutionの場合



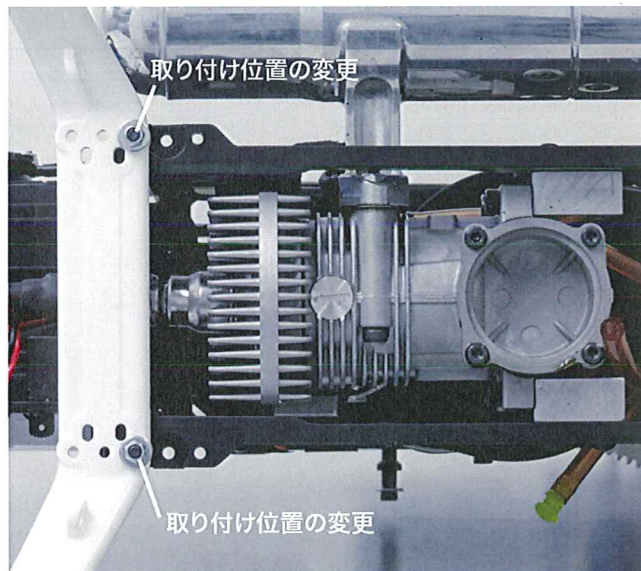
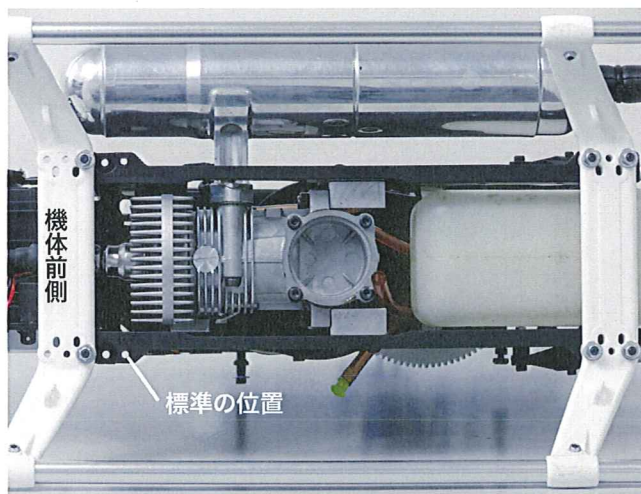
- 1) 左側面:スロットルリンクージはフレーム加工無しで行なうことができます。リンクージは説明書に従って直角リンクージを行なって下さい。



- 2) 右側面:ニードル部が干渉します。写真の様なカットが必要となります。チョークバルブ開閉用穴を開けておくマイナスインスライバーを使用して簡単にチョークを作動させることが可能です。
サイレンサー取り付け用ボルトが干渉する場合、写真を参考にカットを行なって下さい。



- 3) エンジンの搭載位置によってはサイレンサー取り付けボルトがフレームに干渉する場合があります。
写真を参考にカットを行なって下さい。

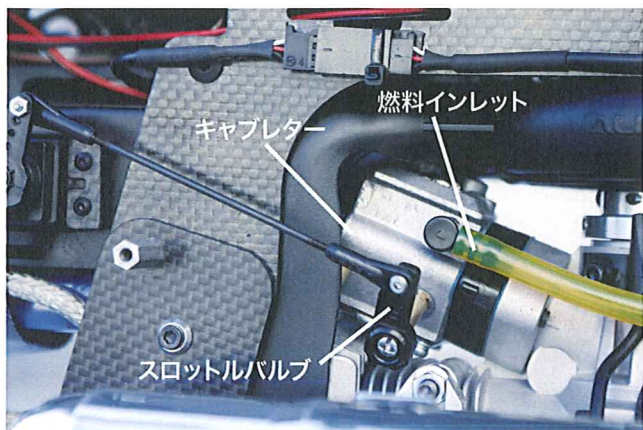


- 4) スキッドが標準位置にある場合、エンジンのヒートシンクヘッドがわずかに干渉する場合があります。
この場合写真の様に前側のスキッドの取り付け位置を機体の前側に移動して取り付けることをお勧めします。



GT15HZ 700サイズベリの搭載例

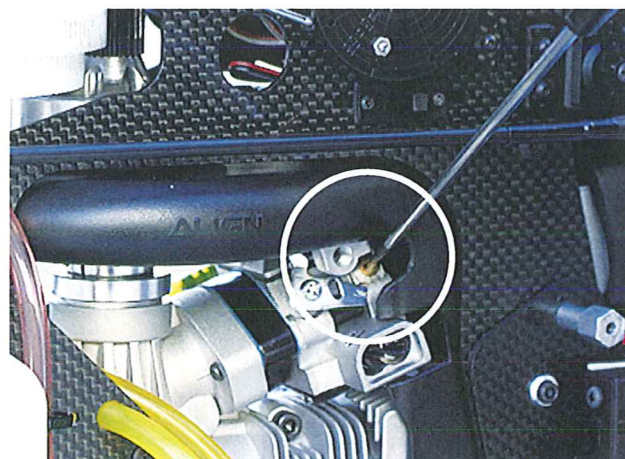
搭載例 ALIGN T-Rex700Nの場合



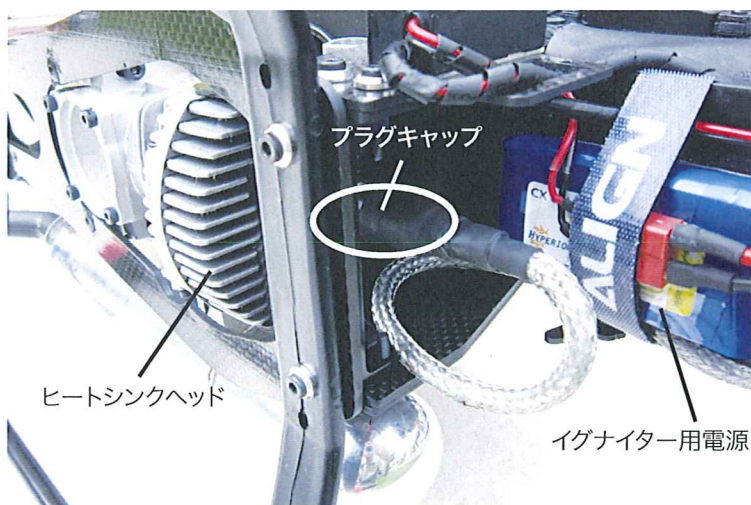
- 1) 左側面:スロットルバルブ側の写真です。
スロットルバルブは左に動かすと閉じる方向、右に動かすと開く方向になります。スロットルバルブにはリターン springs が付いておりリンクジョロッドを外すと全閉に戻る構造になっています。
燃料インレットは燃料の入り口です。メインタンクから耐ガソリン用チューブを使って配管して下さい。
キャブレターはガソリンエンジン用に大型化されています、搭載時には干渉を確認しながらファンカバーのカットを行なって下さい。



- 2) 右側面:ニードル部がファンダクトと干渉します。写真の様なカットが必要となります。



- 3) ドライバーの先端部に見えるのはチョークレバーです。こちら側からマイナスドライバーを使用して簡単にチョークを作動させることが可能です。
2)の写真を参考にファンカバーのカットを行なって下さい。

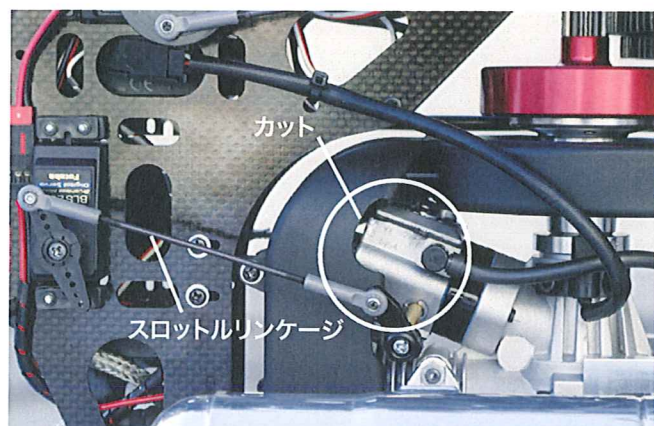


- 4) プラグにはストレート形状のプラグキャップが取り付けられます。(標準付属)
右側に見える電源はイグナイター用電源です。
2cellのLi-Poで容量1500mAの物を使用しています。(別売り)
ヒートシンクヘッドはダイカスト製。
高温になるガソリンエンジンに対応して大型化されています。

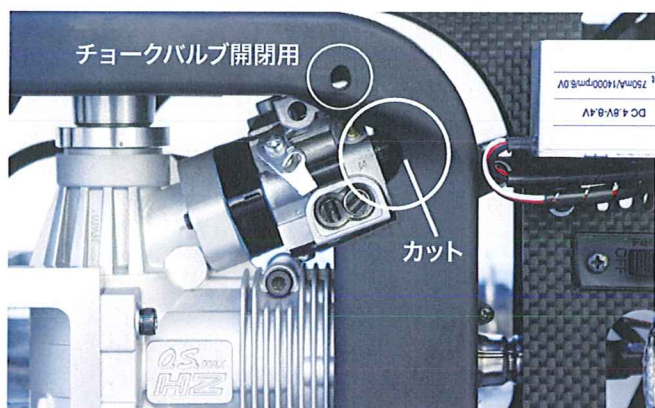


GT15HZ 700サイズヘリの搭載例

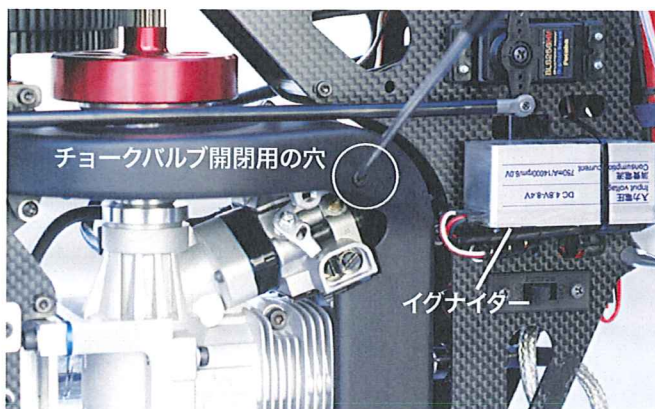
搭載例 JR Vibe 90 SGの場合



- 1) 左側面:キャブレターがファンカバーに干渉する部分をカットします。スロットルリンケージは説明書に従って確実に行って下さい。



- 2) 右側面:ニードル部がファンカバーに干渉しますので写真を参考にカットして下さい。
チョークバルブ開閉用穴の加工を行うと便利です。



- 3) チョークバルブ開閉用の穴を開けることによって写真の様にマイナスドライバーでチョークを作動させることが可能です。
イグナイターは運転中高温になるので通気性の良い場所を選んで搭載して下さい。

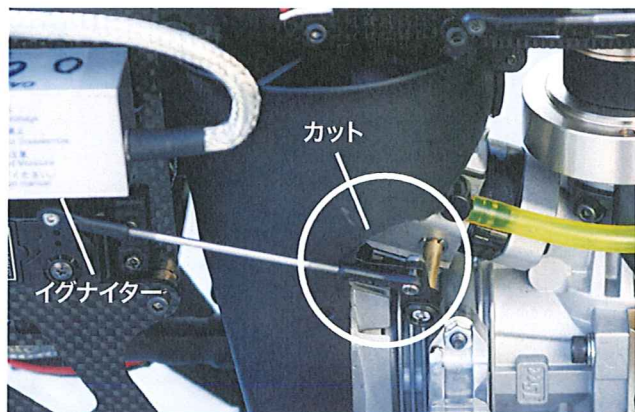


- 4) プラグキャップは取り外しができるようになる様にファンカバーをカットして下さい。

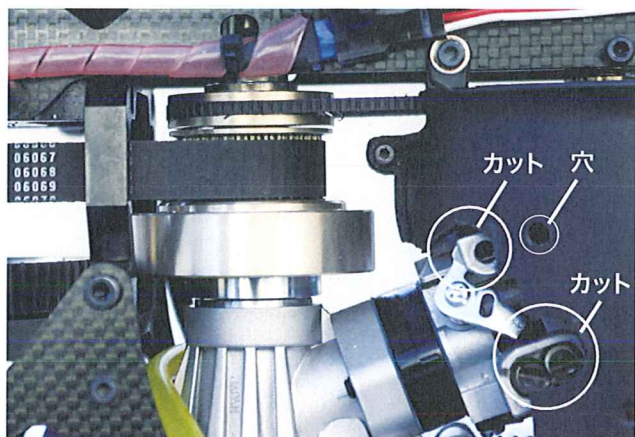


GT15HZ 700サイズヘリの搭載例

搭載例 Quest Neo-CALIBER 90 Ver06の場合



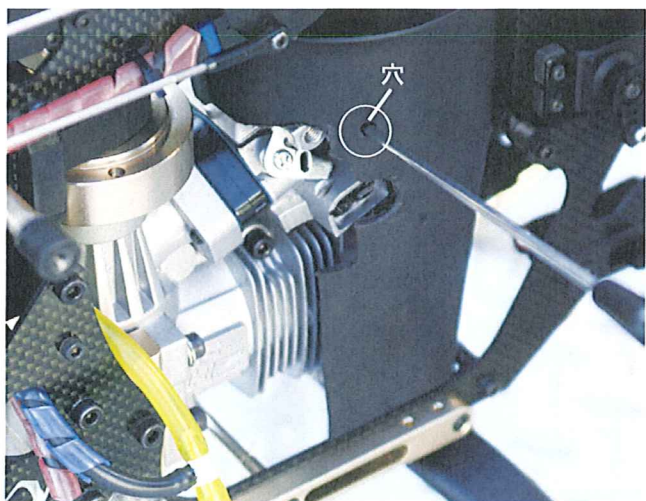
- 1) 左側面:スロットルバルブ側写真です。ファンカバーはスロットルレバーの干渉とキャブレターの干渉を確認しながらカットを行なって下さい。イグナイターは運転中高温になりますので通気性の良い場所を選んで搭載して下さい。



- 2) 右側面:ニードルはLow側、Hi側ともに調整ができる様にファンカバーをカットします。
上に開いている穴はチョークバルブを作動させるために、マイナスドライバーが入る穴です。



- 3) エンジン左側面:エンジンの左側は燃料インレットや回転センサーなどがあります、写真を参考にチューブや回転センサーコードがクラッチ等に干渉しないようにして下さい。
またNeo-CALIBERの場合回転センサーの先端がクラッチの底面と接触することがあります。
ドライブワッシャとクラッチの間にエンジンのスラストワッシャ(別売り/コードNo 46120000)を追加して干渉を防いで下さい。



- 4) マイナスドライバーを使用してチョークレバーを作動させている写真です。ファンカバーにドライバーが通る穴を開けることにより、こちら側からチョークレバーを動かすことが可能です。

